

2017 年度課題研究ノートについて

目的

- 課題研究のプロセスを記録する。
- 進捗状況を生徒間、教員-生徒間で共有する。

授業時の記録

授業時には、以下の要素を必ず盛り込むこと。

- ① 授業時間の活動の目的と内容（授業時間で活動がない場合には、前時からの進捗状況）
- ② 活動から得られた気づき、考察
- ③ 新たな問いとそれに対する仮説
- ④ 発見した課題とそれに対する取り組み案
- ⑤ 次回授業までの活動予定

※分量は多くても少なくても構わない。

記録しておくべきこと

- 活動の日時（実活動時間がわかるように）
- 活動場所
- 参加メンバー
- 活動の目的
- 活動の内容
- 活動の振り返り
- 次回の活動予定

記録時の留意点

- きれいにまとめる必要はありません。「こんなものを記録してもしょうがない」と思わず、だされたアイデアや、実際に行った活動など、ありのままに記録していくことが大切です。
- 「失敗」や「うまくいかなかったこと」も含めて記録してください。また、「失敗」や「うまくいかなかったこと」があったときには、そのまま放置せず、次につなげるためのアイデアもメモしておいてください。
※ 「失敗」や「挑戦」の見えない「きれいなノート」よりも、「失敗」や「挑戦」の様子がわかるノートを評価します。
- 日時、場所、メンバー等も、活動の際は必ず記録してください。授業時間外で、例えば自宅等で活動したのもも記録を残してください。